

語釈：インターネット Twitter 上でみる Trump 前米大統領の英語 (46)

(A Basic Way of Reading Trump-Language)

後 藤 寛

本連載では多くのメディア英語(journalistic English)の研究者が注目している特異で貴重な Trump 氏の英語をたたき台にしているわけであるが、彼の発話内容は America First であり、まるですべてが世界をアメリカから見ての good / bad の binary opposition (2 項対立) の見方・論理で書かれポイントは定まっている。単にこの good or bad だということになる。したがって実際は英文も意味的にすべて簡素なものばかりである。

じっくり読み英文構成法上での pattern 認知の経験を積み重ねるとよいはず。同時に手早く要領のよい語彙力養成にもなる。発話は P. Grice の見方がよく知られるが、彼の *Studies in the Way of Words* (Harvard Univ. Press, 1991)などは参考となる。

また、binary opposition といえば EP 本では服飾の帽子(hat)の位置づけとその着脱の on / off の対立をほぼ振出しとして提示する (EP I, pp. 11-16)。帽子の着脱などは挿絵による視覚的で直示的(deictic)な ostensive definition (実物連想定義) のしやすい例であるとともに、特別に意味をもち発展性があると考えられ真っ先の提示例となったのか？

ただ、このあたりを含めたいわゆる G (grade)に関しては、なぜこの例が流れの中でこの頁に提示されたのか？など、つながりが不透明となることが多い。筆者自身は学部学生時代に Basic 言語に特別に注目し、以来のめり込んできたわけであるが 1960 年代に入手した現在の EP 本 I・II を 1 冊にした合作本の Washington Square Press 版と、その後入手したスペイン語版 SP 本との対照で折に触れ何かと思案はしてきた。しかしながら未だに両言語とも G の本質はよく見えない。今日、英語での Washington Square Press 版の EP 本を持つ人はもう限られるが、これは現在の版とは違い pp.1-90 は 41 カ国語で示す前書き的な内容となっている〔この版のさらにその元版が I. A. Richards 単著のいわゆる *The Pocket Book of Basic English* (1945) [PBBE]で英語独習本であった〕。

入門期での検定本 3 巻のひたすら音読で培った魂は深く根付く旨はすでに触れたが、2 巻を終え 3 巻に入る頃には音読量の違いで学習者間に相当な力の差が出るはず。以後必ず必要となってくるのがやはり語彙力である。今回も語彙力育成の問題も意識するなか内容を確認していく。感情移入の文の読み取りであり“心眼(the mind's eye)で見る”こととなる。なお、今回も(2)と(3)の例でスペイン語翻訳版にも注目する。

(1) False reporting yesterday. “There are no plans to send migrants to Northern or Coastal Border facilities, including Florida.” @FoxNews Not by airplanes or any other way. Our Country is FULL, will not, and can not take you in ! (May 19, 2019)

▲Trump 大統領は 3 年前のこの時期、Mexico 国境の集団移民に最も苦慮していた。「嘘の報道が昨日あったが、@FoxNews の伝えるとおりだ、北部や Florida を含めて国境沿岸施設への移民送還の計画はない、航空機も他の輸送手段も考えていない、米国はもう目いっぱい状態であり、受け入れ意思はないしそれは不可能だ！」という内容である。ここでの北部とは Canada との国境のことのようであった。

太線語 facilities のもつ語感を感じたい。広く用いられる。複数形で「施設・設備・便宜的な場所・手段・トイレ」、単数形で「容易さ・簡便さ・受け入れ能力・才能」など

の意味となるが、PIE etymon は/D/をもつ/DHE/とされ Basic 語 **do** のルーツでもある。

初頭子音[d]はラテン系では[f]音となり/DHE/の異形としての/FAK/から *facility* など膨大な数の英語が生まれた。本連載(3)の①、⑧の①ですでにそれなりに触れはしたが Basic 語 **fact, face, effect, office** など、プラスα Basic 語 *defect, factor* など、また un-Basic 語 *faculty, facsimile, factory, fashion, fake, deficit, infect, benefit, sufficient* など はすべて同系である。英語に *make-do* (間に合わせる・間に合わせの品・代用品) という言い方があり、基本的に英語の *do* も *make* も同じ意味であり、成せば為するという ことで「やりくりすること」のようなニュアンスをもつ語群である〔他の多くの例は拙著 (2016)「松柏社」、第二部、例(27)参照〕。

太線の地名 *Florida* は本連載(16)の(2)ですで見したが、スペイン語の女性形形容詞 *florida* (花の咲いた) に由来し、Basic 語 **flower, flame, fire** など、un-Basic 語では *flash* など光るような視覚的色彩をもつ語が同系語である。PIE etymon の音素形は /BHEL/とされ元は音素/B/をもっていた。音声[b]音をもつ Basic 語 **blood, blade**、プラスα Basic 語 *blessing*、un-Basic 語 *bloom, blossom, blaze* などが同系語として一括される〔同上拙著、第二部、例(64)参照〕。

なお、下線とした *Not ... or* であるが、*neither ... nor* とは言えない Basic 言語ではこのように *not ... or* でよいことをここで確認しておきたい。

〔以下、スペイン語翻訳版もある *tweet* (2018.01-05)より ― 2言語対照〕

(2) Thank you to the great Republican Senators who showed up to our mtg on immigration reform. We must BUILD THE WALL, stop illegal immigration, end chain migration & cancel the visa lottery. The current system is unsafe & unfair to the great people of our country — time for change ! (January 4, 2018)

cf. ¡ Gracias a los Senadores Republicanos que asistieron a la reunión sobre inmigración. Debemos CONSTRUIR EL MURO, detener la inmigración ilegal y cancelar la lotería de visas. El sistema actual es inseguro e injusto para nuestro país, es hora de cambiar ! (4 de enero, 2018)

▲Trump 大統領は当初から移民法の改革を訴えていた。ここではその改革のための委員会に出席した共和党上院議員に感謝するとともに、国境の壁建設を行い連鎖的に入国してくる不法移民を阻止し、ビザ抽選制も取りやめを説いている、目下の制度は安全性に問題があるし、米国民に不公平であり、改革のタイミングだ！という内容である。

下線とした *showed up to* (～に姿を見せた) はスペイン語のほうでは *asistieron a* (<*asistir a*>)とされプラスα Basic 語 *assistant* などと同系であるが、ここでの *asistieron a* は *attended* の意味である。また、*our mtg on immigration reform* での *mtg* は *meeting* のことであるが、「～の会合」は *a meeting on ...* と *on* である。

太線語 **stop** は Basic では名詞として用いるが、PIE etymon の音素形/STEBH/からとされ、原義は「足で踏みつけること」である。Basic 語 **step, stamp** は同系であるし、un-Basic 語の *stump* ([~s]重い足どり・演壇・遊説・木の切り株)、*stoop* (前かがみで歩く)、*stampede* (家畜が集団暴走する・殺到する)、*steep* (急斜面の・険しい) なども同系。*stump speech* などと英語でよく言うが、これは政治活動などの遊説先で木の切り株の上に乗り演説をしたことに由来する〔同上拙著、第二部、例(23)参照〕。

なお、上の文での *stop* に対応するスペイン語 *detener* は英語の *detain* に相当する。

太線語 *lottery* (くじ引き) 中の *lot* は、元々は「分け前とその分量」のことである。

cf. でのスペイン語文中の *reunión* (会合) には Basic 語の同系語 **unit** が組み込まれて

もいる。同系語である。また、スペイン語 *gracias, lotería, inseguro, injusto, cambiar* はそれぞれ英語の *grace, lottery, unsecured, unjust, change* に相当し互いに同系である。こういう同系語(paronym)から見る要領を会得すれば西洋の2言語修得も手早いものとなる〔太字体は Basic 語、イタリック体はプラスα Basic 語〕。

(3) The African American unemployment rate fell to 6.8%, the lowest rate in 45 years. I am so happy about this News ! And in the Washington Post (of all places), headline states, “Trump’s first year jobs numbers were very, very good.” (January 6, 2018)

cf. La tasa de desempleo de los Afroestadounidenses cayó a 6.8%, la tasa más baja en 45 años. ¡ Me alegran mucho estas noticias ! Y, en el Washington Post (nada menos), el encabezado dice, “Los números en el empleo del primer año de Trump fueron muy, muy buenos.” (6 de enero, 2018)

▲「アフリカ系アメリカ人の失業率は 6.8%まで下がり、これは過去 45 年間で最も低い。大変喜ばしいことだ！ こともあろうにワシントンポスト紙の見出しには “Trump の一期目最初の年の就業率はきわめて良好だ” とある」という内容である。

3 行目の headline の前を the とするのが本来ではあるが、こういう場合、略式としてならよかろう。スペイン語のほうは冠詞の el 付きで el encabezado となっている。

太線とした unemployment (失業) は実は本連載(37)の(2)で見たのであるが、改めて確認しておきたい。employ (雇用する) の [pl] の音から「折り畳むこと」の意味を直感するのである。Basic 語 **complex** などと同系。また、Basic 語 **rate** に相当するスペイン語が *tasa* として出ているが、*tasa* は「税率」の感じの語で英語では Basic 語 **touch, tax**、プラスα Basic 語 *taxi* とも同系で、原義の「触れること」の触覚的語感がある。

下線とした空間隠喩の *of all places* は「こともあろうに」の意味である。

cf. のスペイン語 *desempleo, cayó (<caer), más, baja, mucho, noticia, nada, menos, número, primer(o)* は、それぞれ英語 *unemployment, chance, more (<much), base, much, news, nothing (<no + thing), minus, number, primary* に相当し互いに同系語の関係にある〔太字体は Basic 語〕。

今回ここでは最初の文のみの分かり方を MSOE スクリーン上で確認してみる。

STATEMENT					
		THEME : NP	RHEME : VP		
STR	C/C	N ₁	COP/V	N ₂ /N ₃ /A	ADV
1	φ	The African American unemployment rate	fell	φ	to 6.8%, /
2	φ	φ	φ	the lowest rate	in 45 years. //

(備考) 単一斜線 (/) はこの文の意味的 2 分割線。

どの項が空 (くう) の φ かもポイント。本連載は特別に語の観点から Basic を意識し考えているのであるが、Basic の全体系(system)はあくまでも本体 850 語とプラスα語 (654 語)〔その見方は相当複雑であるが、詳細は同上拙著 pp. 227-240 参照〕が厳密に把握されない限り所詮は身につかないようにできている。Basic の体系は 1 語でもそれが Basic 語か否か曖昧な状態では必ず全体が壊れるようにもできているということである。

Basic (850 + 654 = 1,504)語の全語彙体系は EP 本では把握できない。EP 本(I・II)で示される本体の Basic 語は数え方にもよるが 495 語で約 500 語が導入される。これで

Basic が分かるか？であるが実は 1 語でも不足すれば Basic は所詮は見えない。まして本体 850 語のうち約 350 語も不足しては Basic そのものは見えてはこない。

なお、文レベルで EP 本(I・II)では“Good morning.”や“How are you?”など挨拶言葉は排除され II の巻末部(p.152)での部分的提示と III の後半部(pp.149-153)で特別扱いされるが、symbol / sign situation (象徴／記号状況)ではないからである [Ogden, C. K. & Richards, I. A. (1923) *The Meaning of Meaning* (Chapter X, p. 234)など参照]。

また、EP 本(III)では厳密な意味での Basic のタガは外されるが、この EP 本(III)で提示される Basic 語は 189 語である。したがって EP 本(I)～(III)での Basic 語は $495 + 189 = 684$ から 684 語ということになる。これでもなお $850 - 684 = 166$ で本体 Basic 語のうち 166 語も不足している。本会 Year Book, No. 71 (2019) の拙稿で提示した「EP 本 (I・II) における Basic 語本体 850 語中の 495 語 (+α) 提示順一覧 (早見表)」は、EP 本での巻末索引との併用で必ず役立ち末永く使えるはずであろう。

なお、今日の Basic 850 語以前の旧語表 850 語に関しては C. K. Ogden (編) *Psyche* 全 18 巻中の第 9 巻に提示されているが、旧・新の両語表の比較研究も意義はある。また、すでにしばしば触れたことではあるが プラスα Basic 語 を抜きにしては 旧・新約 Basic 聖書 BBE (*The Bible in Basic English*) [1949] は 1 頁たりとも成立しない。この機会に Basic 言語の全体把握に欠かせない BBE に頻出するプラスα語 を以下に列挙しておく [Basic 全語彙体系の厳密で詳細な見方に関しては同上拙著 pp. 233-240 参照]。

▲BBE で頻出するプラスα Basic 語としての韻文／聖書用語 150 語 (韻文用語 100 語／聖書用語 50 語)

[注] i) 大多数の語(140 語)は名詞扱い。 ii) 下線は韻文用語 (100 語)、内*印の語 (10 語) は形容詞。

altar, angel, ark, arrow, ass, ax, baptism, beast, blessing, *blind, bow, breast, bride, brow, bud, *calm, captain, cattle, child, circumcision, cross, crown, curse, dawn, deceit, delight, dew, disciple, dove, dream, eagle, envy, *eternal, evening, evil, *fair, faith, fate, feast, flesh, flock, flow, forgiveness, fountain, fox, generation, *gentle, *glad, glory, God, grace, grape, grief, quest, hawk, heaven, hell, herd, heritage, hill, *holy, honey, hono(u)r, husband, image, ivory, joy, kingdom, lamb, lark, leaven, leper, life, lion, locust, lord, master, meadow, melody, mercy, neighbo(u)r, *noble, oath, ox, passion, people, perfume, pillar, pity, pool, praise, prayer, preaching, pride, priest, prophet, *purple, rapture, raven, revelation, righteousness, robe, rock, rose, rush, saint, salvation, savio(u)r, scribe, search, *shining, shower, sin, sorrow, soul, spear, spice, spirit, storm, stream, strength, sword, tent, testament, thief, thorn, tower, travel, tribe, valley, veil, vine, violet, virgin, virtue, vision, wandering, wealth, weariness, weeping, widow, wife, wisdom, witness, wolf, wonder, world, worship, wrath, yoke

▲上記以外に BBE で便宜的に用いられるプラスα語の例

Antichrist, Apostle, Bishop, Christian, Deacon, Gentile, Paradise, Passover, Pentecost, Satan, Sabbath, Sinagog(ue), Temple, etc.

barley, bear, camel, cock, dragon, emerald, ephod, fig, flax, frog, jasper, leopard, manna, mustard, myrrh, olive, pearl, penny, sapphire, sardius, scorpion, etc.

BBE ではこれらの語彙が全 910 頁のどの頁にも例外なく現れる。spatial reference 的な指示表示のみならず、emotional な感情表示も Basic (850+α)語で十分意味を伝えることが可能なことを BBE は立証するものと言える。Basic の世界に深く参入するバイブル (必読書) がまさに文字通りの *The Bible in Basic English* (BBE)ということになる。